

科目シラバス（2023年度）

--

■科目基本情報

科目名	サービス開発	科目コード	9590
授業時数/週	13 時間/週	年次・学期	2 年 ・ 通期
必修/選択区分	必修	授業形態	演習
担当教員	金晟基, 津田孝夫, 岡田陽一		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程	企業等と連携した実習・演習科目	連携企業等	株式会社ふわっと
備考			

■科目詳細情報

授業概要	企画II、プロジェクト推進で学んだ技術を使い、グループでAIやIoT、ウェブを用いたシステム開発を行い、クラウドなどにサービス展開を目指す。成果を進級課題制作として発表を行う。現場投入できる技術力を身に付けることを目標とする											
到達目標	プロジェクトの立ち上げ、チーム構築などを行い企画からサービスリリースまでの実践を経験する。前期でリリースしたサービスの運営を行い、課題を解決し、サービスを広げる活動を経験する											
授業方法	講義、実習、発表、グループ学習、アクティブラーニング、レポート											
実践的教育の内容	実務経験のある教員が全時間を通して、講義・実習管理・課題・成績評価までトータルで担当、実務経験を織り交ぜながら、最新技術動向なども授業内で展開を行い学生興味を誘発する											
成績評価方法	筆記試験 定期試験	0%	筆記試験 小テスト	0%	実技試験	0%	課題評価	100%	平常評価	0%	合計	100%
	授業内容を盛り込んだ課題提出の習熟度と年間プロジェクトの制作発表会の評価をもとに総合的に行う											
授業外における学修	特になし											
教科書・教材	なし											
参考文献・資料	特になし											
履修上の留意点	特になし											
授業計画	第1週	オリエンテーション、企画、プロジェクトマネジメント 各プロジェクトの企画検討を行う・自主的に進級課題制作の内容を決める										
	第2週	チーム構築、企画、タスクマネジメント、WBS、IT活用事例 IT活用事例を学び、企画を固め、必要な人員を整備し、タスクマネジメントを実践する										
	第3週	トレンド技術、プロフィールライティング、チーム構築 トレンド技術事例、企画書作成に向けたライティング技術を学ぶ・チーム構築を行う										
	第4週	IoT事例、チーム構築、ライティング（日本語ルール） IoT事例、日本語ルールのライティング技術を学ぶ・チーム構築を行う										
	第5週	人工知能事例、開発、ライティング（日本語の技） 人工知能技術事例、日本語の効果的な使い方を学ぶ・本格的なサービス開発を行う										
	第6週	クラウド技術事例、開発、ライティング（メール） クラウド技術事例、メールでのコミュニケーションを学ぶ・サービス開発を進める										
	第7週	利益、Markdown、ポスターデザイン サービスがもたらす利益を考え、技術文書・ポスターデザイン手法学び、開発を進める										
	第8週	構想プレゼンテーション、Emmet、ポスターデザイン 前期中間の構想プレゼンテーション準備する・Emmetなど効率的なデザイン技法を学ぶ										
	第9週	前期中間発表プレゼンテーション 前期中間発表会に向けて各チームごとに発表指導を受ける										
	第10週	前期中間発表プレゼンテーション、UXデザイン、カスタマージャーニーマップ 前期中間発表のリハーサルレビューを行う・ユーザーを意識したデザイン手法を学ぶ										
	第11週	非機能要件、システム構成図、コミュニケーション計画、進捗管理、UXデザイン、CJM サービスリリースまでに計画内容を確認する・優れたユーザビリティを考える										
	第12週	品質計画、UXデザイン、カスタマージャーニーマップ(1) 品質計画を考える・優れたユーザビリティを実装する										
	第13週	運用計画、UXデザイン、カスタマージャーニーマップ(2) サービスリリースに向けて運用計画を考える・優れたユーザビリティを実装する										
	第14週	運用計画書作成、ビジネスフレームワーク、UIデザイン(1) サービスの運用計画書を作成・課題をビジネスフレームワークで整理する										
	第15週	運用計画書作成、ビジネスフレームワーク、UIデザイン(2) 作成した運用計画書を吟味する・ビジネスフレームワークで課題解決を目指す。										
	第16週	プレゼンテーション指導、運用計画書見直し サービスの運用計画を改善する・期末発表会に向けて各チームごとプレゼン指導を受ける										
	第17週	前期振り返り、プレゼンテーション指導 期末発表会に向けてリハーサルを行う・サービスリリース状況を確認し、振り返りを行う										

授業計画	第18週	運用計画書、ビジネスフレームワーク、UIデザイン(3) 運用計画書を基にサービス運用を開始・課題解決手法を引き続き学ぶ
	第19週	インシデント管理、ビジネスフレームワーク、UIデザイン(4) インシデント管理手法を学ぶ・課題解決を実践する
	第20週	インシデント管理、ビジネスフレームワーク、UIデザイン(5) インシデント管理手法を使って、課題解決を実践・サービスのブラッシュアップをする
	第21週	セキュリティ診断・監査、ライティング（企画書・提案書）、利用規約 セキュリティ診断・監査を学ぶ・改善に向けたドキュメントを整備する
	第22週	セキュリティ診断・監査、ディレクション（ヒアリング）、利用規約 セキュリティ診断・監査を学ぶ・ディレクション技術を身に着ける
	第23週	セキュリティ診断・監査、ディレクション（クライアントワーク、会議術）、利用規約 セキュリティ診断・監査を学ぶ・サービス改善活動に向けたディレクションを行う
	第24週	プロジェクト報告、ディレクション（交渉術）、利用規約 プロジェクト報告を学ぶ・チーム開発におけるディレクション技術を学ぶ
	第25週	プロジェクト報告、後期中間プレゼンテーション プロジェクト報告を学ぶ・後期中間発表のプレゼンテーション指導を受ける
	第26週	プロジェクト報告、ポートフォリオサイト制作(1) プロジェクト報告を学ぶ・サービス運営の改善開発を進める(1)
	第27週	プロジェクト報告、ポートフォリオサイト制作(2) プロジェクト報告を学ぶ・サービス運営の改善活動を進める(2)
	第28週	リリース管理（構成管理）、変更管理、SLA管理、リソース管理、ポートフォリオサイト ITサービスマネジメントを学ぶ・サービス改善開発を進める
	第29週	リリース管理（構成管理）、リソース管理、ポートフォリオサイト制作 ITサービスマネジメントを学ぶ・サービス改善開発を進める
	第30週	リリース管理（構成管理）、リソース管理、ポートフォリオサイト制作 ITサービスマネジメントを学ぶ・サービス改善開発完了を目指す
	第31週	プロジェクト報告書、撤去計画 プロジェクト最終報告を行う・システム撤去計画を検討する
	第32週	後期期末プレゼンテーション、プロジェクト報告書、撤去計画(1) 期末発表プレゼンテーションを各チームごとに受ける(1)
	第33週	後期期末プレゼンテーション、プロジェクト報告書、撤去計画(2) 期末発表プレゼンテーション指導を各チームごと受ける(2)
第34週	総括、職務経歴書 1年間の総括を行う・身に着けた技術、経験で職務経歴書を作り、今後の人生に役立てる	